

自立事業確立を目指して



NPO法人富士市のごみを考える会

報告の流れ

申請書の関連頁

- 富士市とはどんなところか
- “富士市のごみを考える会”とは？
- 当会の目指すもの
- 活動内容
- 過去の実績
- 今後の展開
 - － 現在の課題
 - － 自立事業概要
 - － 個別事業詳細
 - － 初年度の具体的活動内容
 - － 2010年度以降の自立への方向付け



1

2

3,4

19

10,11,17

5,6,16

7,8,9

12,13,14,15

18

富士市でどんなところ？

人口：24万3千人（県下第3位）

面積：214km²

製造品出荷額：1.3兆円（県下第6位）

紙の町

紙・板紙の生産量：12%（全国）

トイレットペーパーの生産量：34%（全国）

富士市のごみを考える会(1)

- 設立時期: 2003年12月26日
- 設立の背景

富士市におけるごみの排出量が全国平均より多いことに気がつき、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を進めごみを削減し、資源循環型社会を目指すことで、持続可能な社会作りに貢献する環境先進都市富士市を作ろうと、この会を設立。

- 会員数: 68名
- 代表者: 小野 由美子

『NPO法人 富士市のごみを考える会』は、富士市をゼロエミッション達成の環境先進都市にします。



使い捨て食器を使用をしない。



環境先進都市や企業の視察と学習。



県環境教育のお手伝い。



講演会や勉強会を開催。



生ごみ資源化の講習会。



生ごみを畑に返して。



- ごみを減らすことで地球の資源を守ります。
- ごみを燃やさないことで地球温暖化を防止します。
- 「もったいない」の心を大切にします。



富士市のごみを考える会(2)

● 活動内容

- ① ごみの排出抑制・適正処理に関する先進団体の見学、学習
＜先進地域への見学・学習会、他団体との交流＞

070313掛川市環境資源キャリアー



061206田原市田原リサイクルセンター炭生館



061018富士宮市・生ごみ汚泥
共用水素ガス発生装置

富士市のごみを考える会(4)

● 活動内容

③ ごみの排出抑制・適正処理に関する実践活動

＜食器デポジット、ごみ分別指導＞

イベントで使い捨て食器を使わずに、
リユース食器を使おうと言う事業。
使い捨て食器による大量のごみがなくなる。

＜審議会、プロジェクト等への参加＞

廃棄物減量化等推進審議会参加
富士山麓ごみ減量大作戦



自立事業助成申請への背景(1)

(当会の現状課題の解決に向けて)

<現状の課題・問題点>

- 4年間のボランティア活動を通して、会員の集まれる場所がない。資材を1箇所
に保管して置ける場所がない。自主事業アイテムの展示・広報の場がない。
- NPOとして自主事業の拡大とNPOとしてのミッション達成のため新たな事業展
開の必要性を感じている。
- リユース食器活用事業等々は、事務所と有給の担当者がいて成り立つ事業と
思われるが、今までは無償のボランティアに頼っている。
- 生ごみ堆肥による無農薬有機野菜が徐々に地域に認められてきている今、グ
リーンコンシューマー拡大のため、それらの販売拠点を持つ必要を感じている。
- 日常的に、3Rや地球温暖化防止活動の普及啓発ができる拠点作りが必要と感
じている。

常設拠点を確保し、新たなるスタートを !!

自立事業助成申請への背景(2)

(当会の現状課題の解決に向けて)

<常設拠点を持つことのメリット>



- 活動拠点ができる。会員が何時でも自由に集まれる場所ができる。
- 各会員宅に保管している備品類を1箇所に保管できる。
- リユース食器事業の食器類を常時展示して、その場で説明できることにより、大幅な利用拡大を望める。(今までは電話問い合わせとHPを見てもらうしかなかった)
- 自動食器洗い機を常設しておくことで、有料で食器洗いも含めて貸し出しするという新たな事業展開も図ることができる。
- リユース食器事業、環境教育事業においては、事前の打ち合わせが不可欠であるが、それらの打ち合わせ場所、連絡場所を固定化することができる。
- 古着回収、リユース古着、古着リサイクル事業を新たに展開することができる。
- ハートボックスと提携して、子供服などを発展途上国へ寄付することができる。
- リサイクル教室(布ぞうり作り、裂き織り、リサイクル工作等々)を開設できる。
- 生ごみ堆肥を使った無農薬有機野菜を販売する常設拠点を確保することができる。
- 3R(リデュース・リユース・リサイクル)を日常的に普及啓発することができる。
- 環境学習の拠点となることができる。



生ごみ資源化

リユース食器活用



自立事業の4本柱



環境教育

古着回収

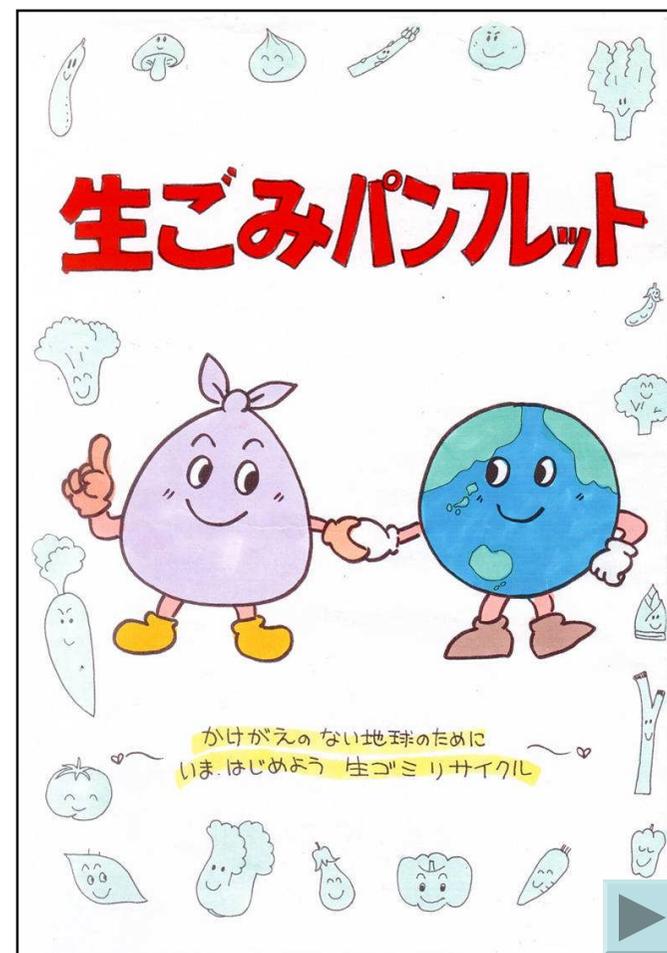




生ごみ資源化



- 毎週金曜日生ごみ回収、朝、畑で野菜収穫、拠点での販売。
- 他の生ごみ堆肥で無農薬有機栽培を行なっている農家と提携、野菜を供給してもらう。
- その日のうちに販売しきれぬ量を販売し、新鮮さと安心で安全な野菜の提供をする。
- グリーンコンシューマーの拡大を狙う。



リユース食器活用による イベントごみの削減



- 約8,000個の食器と小型の食器洗浄機を保有。
- 年間20件、12,000個ほどのリユース食器の貸し出しを実施。
- 富士市では、職員祭、ふじまつり、福祉祭り、消防祭などでも使用中。
- 御殿場市、下田市など他地区からの使用実績もある。
- 将来的には、リユース食器ネットワーク「財団法人 地球・人間環境フォーラム」への加入を目指す。



祭りやイベントのごみ減量



自動洗浄機を使い、洗って再利用するイベントにご参加ください。

NPO法人 富士市のごみを考える会
 飲食店に貸し出し 洗って再利用

NPOが推進 食器デポジット

飲食店に貸し出し 洗って再利用

富士市のごみを考える会

食器貸出し用リスト

食器、洗浄機貸出します。
食器を捨てないでまた使いましょ！



種類 大鉢
サイズ 直径18.5cm 深さ8cm 枚数 146枚
備考 ラミネート



種類 大鉢
サイズ 直径17.5cm 深さ6.5cm 枚数 178枚
備考 ラミネート



種類 中鉢
サイズ 直径16.4cm 深さ6.3cm 枚数 202枚
備考 桜花、うどん



種類 中鉢
サイズ 直径15.5cm 深さ6.5cm 枚数 222枚
備考 桜花、うどん



種類 中鉢
サイズ 直径14cm 深さ7.5cm 枚数 605枚
備考 桜花、うどん



種類 中鉢
サイズ 直径13.5cm 深さ7.7cm 枚数 500枚



種類 中鉢
サイズ 直径13.5cm 深さ3.8cm 枚数 134枚
備考



種類 中鉢
サイズ 直径17.8cm 深さ6.4cm 枚数 92枚
備考



種類 中鉢
サイズ 直径16.4cm 深さ3.3cm 枚数 200枚
備考



種類 小鉢 大、小 (D・キタ)
サイズ 大 直径14.3cm 深さ6.3cm 248枚
小 直径13.5cm 深さ5.7cm 325枚



種類 小鉢 大、小 (D・キタ)
サイズ 大 直径13.4cm 深さ6.8cm 664枚
備考 小 直径12.7cm 深さ5.7cm 652枚



種類 小鉢 中
サイズ 直径13.8cm 深さ2.4cm 枚数多数
備考



種類 小鉢 中・薄
サイズ 直径12.8cm 深さ2.4cm 枚数多数
備考

お問い合わせ

NPO法人 富士市のごみを考える会

理事長 小野 由美子
〒417-0801 静岡県富士市大淵27-6
TEL/FAX 0545-35-2439 MAIL fyono@ck.ctn

環境教育

- 富士市、沼津市等の小学校からの環境学習教室の講師の要請が多い。
- 2007年度から県の環境プログラムに参加できることで、更なる事業の拡大が期待できる。

ごみ減量のキーワードは3つのR!

NPO法人 富士市のごみを考える会



○テーマ	廃棄物
○学習内容	家庭からの廃棄物
○教科等との関連	廃棄物の処理 (社会)
○学習対象	小学校・中学年
○場 所	体育館、教室など
○学習時数	3時間
○準備物	プロジェクター

学習の目標

- 環境をよくするために行われている様々な取組に関心をもつ。(関心)
- ごみを減量することの大切さや3R (リデュース・リユース・リサイクル) について理解する。(思考・理解)
- 地球を守るために自分ができることを生活の中で実践する。(参加・行動)

プログラムの概要

- ①全体・・・紙芝居「富士山とごみと私」など。ごみゼロ博士おもしろクイズ(25分)
- ②グループ・・・ペットボトルリサイクル(20分)
生ごみリサイクル(20分)
ごみ分別ゲーム(22個のアイテムカードを4セット用意)(20分)
ごみ減量大作戦(20分)
- ③全体・・・クールダウンタイム(気づいたことをノートに整理)、気づいたことの発表・質問・まとめ(30分)

団体活動PR

当会は、現在65名。静岡県環境学習指導員をはじめ、クリーンジャパンセンター環境学習指導員、富士市ごみマイスター、静岡県地球温暖化防止活動推進委員、有機農法研究員、イラストレーター他、様々な分野の専門家がそろっています。
日常生活の中での“気づき”を大切に、楽しいプログラムを実践しています。



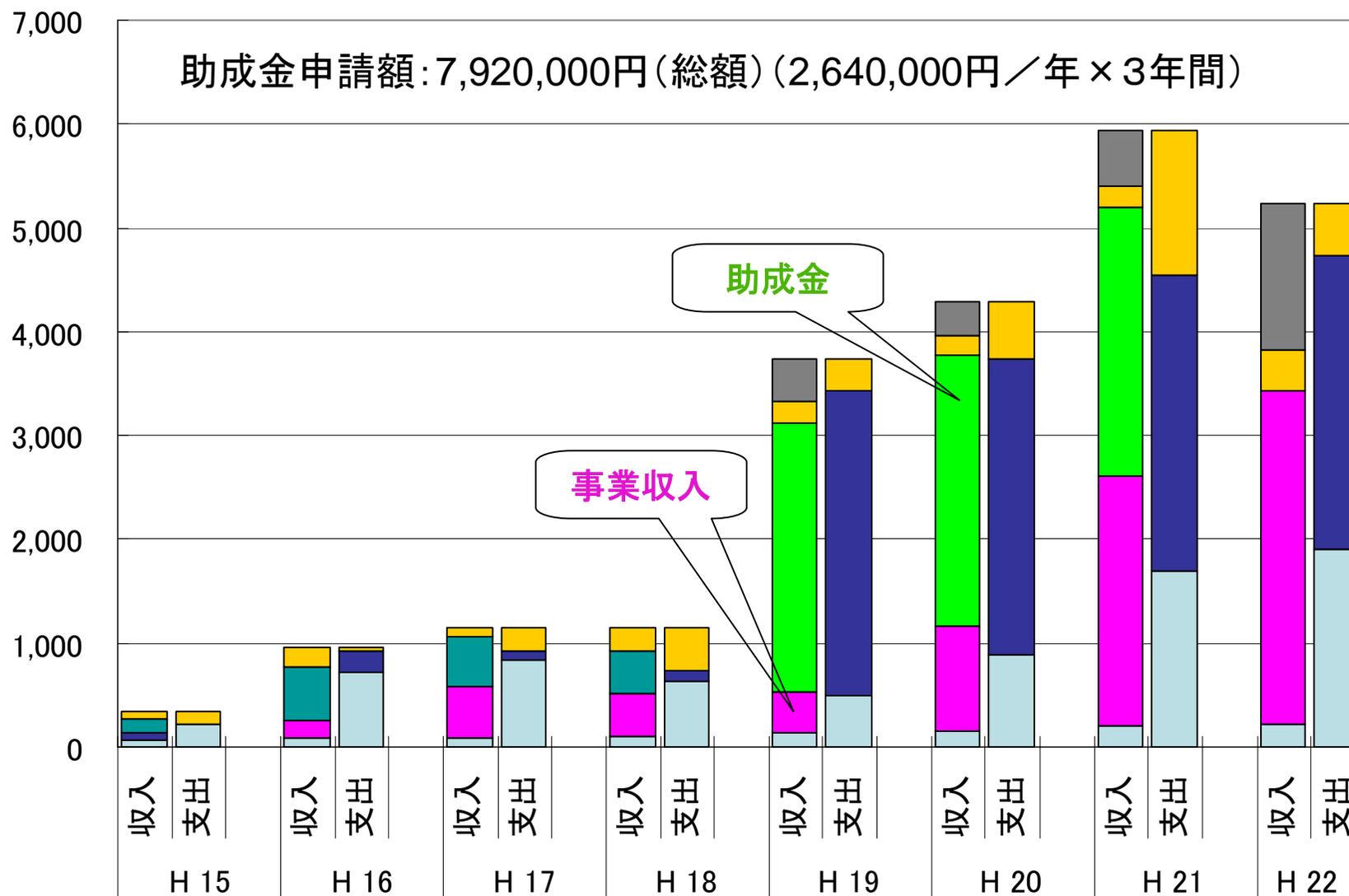
古着回収事業



- これからの分野ではあるが、今年度古着回収をイベントなどで行なってみて、その多さと質の良さに驚いている。「もったいない」の精神を生かす極めて身近な取り組みとして、大いに期待できる。
- 古ぞうりや裂き織りなど、手を加えることで付加価値が付き、需要は結構あると見込んでいる。
- 3年間で、教室とリサイクル品販売、洋服リユース、子供服の発展途上国への寄贈をサイクルで回るよう手がけたい。また、いらなくなった家具類の仲人事業やおもちゃ病院の開設も目指す。

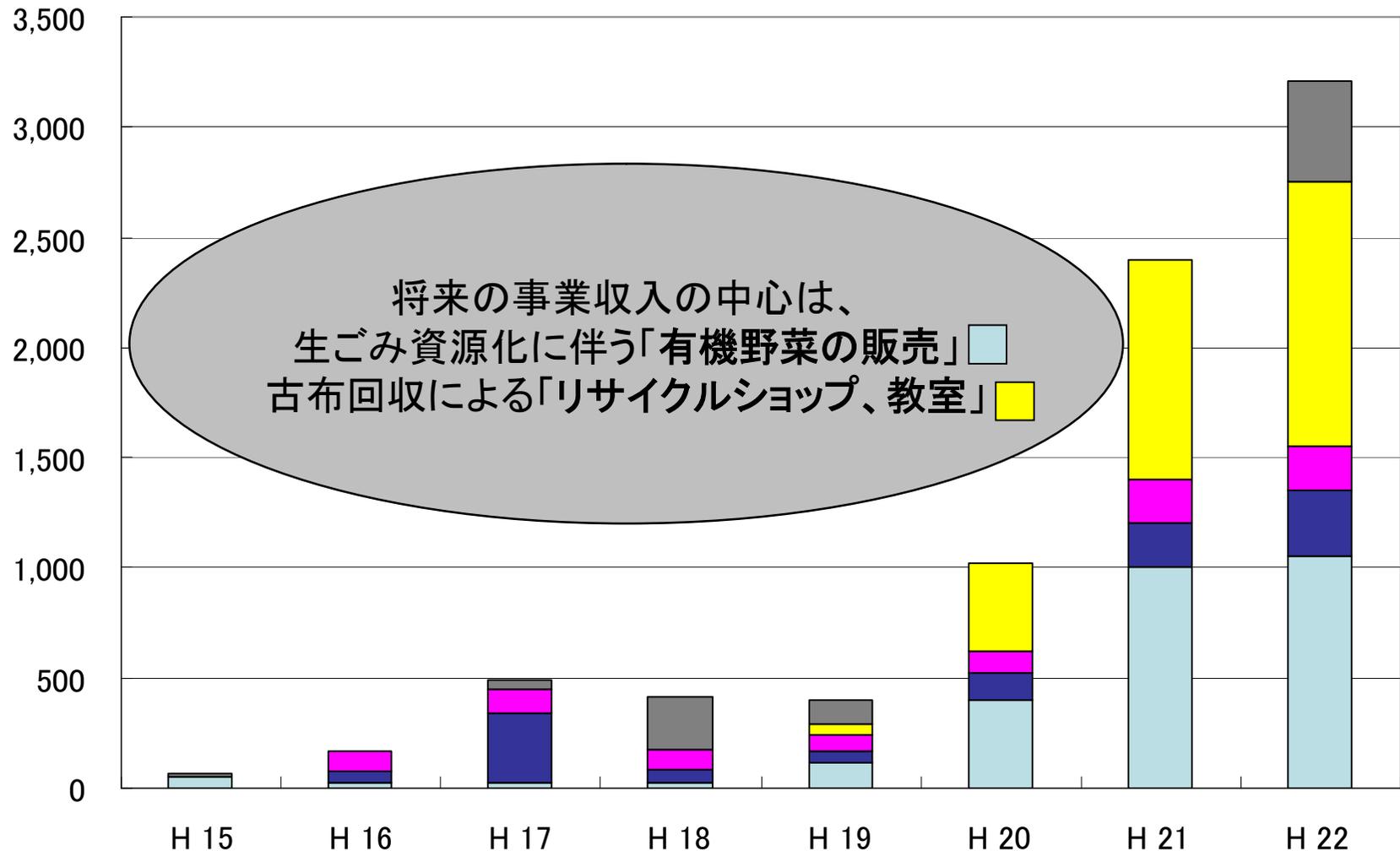


収支推移(計画含む)



事業収入推移(計画含む)

■ 生ごみ資源化 ■ リユース食器 ■ 環境教育 ■ 古着回収 ■ その他



2007年度の実行計画

- 拠点の確保



- 生ごみ資源化と安心安全な野菜作り
- リユース食器活用によるごみ削減
- 環境教育
- 古着回収事業



助成期間終了後への対応

- さらに、「ごみ資源化拠点」の機能を付加。
 - ペットボトル回収拠点
 - 古紙、缶回収拠点
 - 白色トレイ回収拠点

